



平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 27 年 8 月 7 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 8 月 12 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	8,546	2.1	796	10.6	932	39.8	758	25.5
27 年 3 月期第 1 四半期	8,373	13.6	720	101.1	667	4.6	604	23.0

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 1 四半期 879 百万円 (57.8%) 27 年 3 月期第 1 四半期 557 百万円 (△18.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 1 四半期	37.99	37.63
27 年 3 月期第 1 四半期	30.37	30.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	48,196	28,611	59.2
27 年 3 月期	48,668	27,991	57.4

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 1 四半期 28,536 百万円 27 年 3 月期 27,916 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	5.00	—	13.00	18.00
28 年 3 月期	—	—	—	—	—
28 年 3 月期 (予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	18,850	5.7	1,270	1.6	1,270	△24.4	1,000	△32.8	50.10
通 期	37,500	3.4	2,450	7.0	2,450	△25.4	1,950	△28.4	97.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	22,272,000株	27年3月期	22,272,000株
28年3月期1Q	2,313,175株	27年3月期	2,313,175株
28年3月期1Q	19,958,825株	27年3月期1Q	19,892,012株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界情勢は、ギリシャ債務問題やアジア地域経済の鈍化等の不安定要素がみられましたが、堅調な米国経済に牽引され底堅く推移しました。また、わが国経済におきましては、円安進行による輸入コストの増加等がみられたものの、企業の設備投資は堅調に推移しました。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、米国を中心に需要が堅調に推移し、国内につきましても自動車関連を中心に堅調に推移しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上高が国内およびアメリカ地域で堅調であったこと等から売上高合計は85億4千6百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が65億3千7百万円（前年同四半期比6.3%増）、部品売上高は12億6千6百万円（同11.1%増）、金型等の売上高が3億2千6百万円（同25.6%増）とそれぞれ増加いたしました。一方、周辺機器売上高は4億1千6百万円（前年同四半期比49.6%減）となりました。

利益面につきましては、射出成形機等の売上高が増加したことおよびコストダウン等の施策が奏功したことから、営業利益は7億9千6百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。また、営業外収益として為替差益7千8百万円を計上したこと等から経常利益は9億3千2百万円（前年同四半期比39.8%増）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5千8百万円（同25.5%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

自動車関連を中心に需要が堅調に推移したことから売上高（外部売上高）は45億1千4百万円（前年同四半期比5.8%増）、またセグメント利益は7億8千1百万円（同83.1%増）となりました。

②アメリカ地域

自動車関連等を中心に需要が堅調に推移したものの売上高（外部売上高）は22億2百万円（前年同四半期比7.7%減）、またセグメント利益は1億7千2百万円（同11.2%減）となりました。

③アジア地域

東南アジア地域での需要の停滞および中国経済に若干の停滞感がみられたものの、東アジア地域で自動車関連等の需要が堅調だったこと等から売上高（外部売上高）は18億2千9百万円（前年同四半期比6.3%増）となりましたが、価格競争の激化等からセグメント利益は1千2百万円（同77.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億7千1百万円減少し、481億9千6百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加10億1千1百万円および商品及び製品の増加4億9千3百万円であり、主たる減少要因は、受取手形及び売掛金の減少14億7千9百万円および未収入金の減少4億6千1百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ10億9千1百万円減少し、195億8千5百万円となりました。主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少5億3千9百万円および長期借入金の減少1億9千2百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ6億1千9百万円増加し、286億1千1百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加4億9千8百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、平成27年5月8日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

当社グループといたしましては、世界規模で進展する市場変化の中で、連結経営機能を強化し、高収益企業としてスピード感を持ってグローバルな展開を目指してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

(アジア地域)

中国における販売体制を再編・強化するために設立した「日精樹脂工業科技（太倉）有限公司」を連結子会社としております。

この結果、平成27年6月30日現在では、当社グループ（当社及び当社の子会社）は、当社、連結子会社13社及び非連結子会社5社より構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,758	8,770
受取手形及び売掛金	11,149	9,670
商品及び製品	7,189	7,682
仕掛品	3,363	3,538
原材料及び貯蔵品	3,850	3,804
未収入金	2,741	2,279
その他	1,169	1,170
貸倒引当金	△173	△176
流動資産合計	37,048	36,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,204	3,210
機械装置及び運搬具(純額)	1,366	1,337
土地	4,483	4,487
その他	309	259
有形固定資産合計	9,363	9,293
無形固定資産	350	355
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555	1,505
その他	365	317
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	1,905	1,808
固定資産合計	11,619	11,456
資産合計	48,668	48,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,501	10,962
1年内返済予定の長期借入金	769	769
未払法人税等	163	203
引当金	322	407
その他	2,320	1,912
流動負債合計	15,076	14,255
固定負債		
長期借入金	1,836	1,644
退職給付に係る負債	3,269	3,261
その他	493	423
固定負債合計	5,599	5,329
負債合計	20,676	19,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,478	5,478
利益剰余金	17,149	17,648
自己株式	△1,109	△1,109
株主資本合計	26,881	27,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	469
為替換算調整勘定	765	786
退職給付に係る調整累計額	△111	△99
その他の包括利益累計額合計	1,035	1,155
新株予約権	75	75
純資産合計	27,991	28,611
負債純資産合計	48,668	48,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,373	8,546
売上原価	5,762	5,855
売上総利益	2,610	2,691
販売費及び一般管理費	1,890	1,894
営業利益	720	796
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	9	10
為替差益	—	78
その他	82	50
営業外収益合計	94	141
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	141	—
その他	3	2
営業外費用合計	147	5
経常利益	667	932
特別利益		
退職給付制度終了益	99	—
特別利益合計	99	—
税金等調整前四半期純利益	766	932
法人税等	162	174
四半期純利益	604	758
親会社株主に帰属する四半期純利益	604	758

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	604	758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	88
為替換算調整勘定	△168	20
退職給付に係る調整額	103	11
その他の包括利益合計	△46	120
四半期包括利益	557	879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	557	879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,267	2,385	1,720	8,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,058	1	1,165	5,225
計	8,325	2,386	2,885	13,598
セグメント利益	426	194	54	675

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	675
セグメント間取引消去	44
四半期連結損益計算書の営業利益	720

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,514	2,202	1,829	8,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,575	2	956	4,534
計	8,090	2,205	2,785	13,081
セグメント利益	781	172	12	967

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	967
セグメント間取引消去	△170
四半期連結損益計算書の営業利益	796

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。